

## 6/29 とうや湖レクリエーションクラブが町のPRマスク作製 社会福祉協議会へPRマスク寄贈

**と**うや湖レクリエーションクラブ（青木佐智子会長）は、マスクに洞龍くんのイラストを張り付けた町のPRマスクをダブルガーゼ素材で作製し、洞爺湖町社会福祉協議会に120枚寄贈しました。

同クラブの青木会長は「町のPRに協力できないかと思ひ、マスクを作製しました」と思ひを話しました。

寄贈されたマスクは、町内在宅介護サービス関係者などに提供し、利用されています。



山本事務局長（左）へマスクを手渡す  
とうや湖レクリエーションクラブ会員（右）

## 6/23 経済対策の一助に 洞爺湖町建設協会 町へ寄付

**洞**爺湖町建設協会（北島良人会長）が新型コロナウイルス感染症の影響による経済対策の支援として町に50万円を寄付しました。

同協会の北島会長は「新型コロナウイルス感染症の影響で財政も厳しいと思うので、少しでも役に立ちたいとの思いで寄付しました」と話し、真屋町長は「こういった支援をいただき、町は大変助かっています。町民の生活を支援できるよう努力します」と感謝を述べました。



真屋町長に寄付金を手渡す北島会長（左）

## 7/6 公衆トイレの点検、修理 洞爺湖管工事業協会ボランティア

**洞**爺湖管工事業協会（齊藤品隆会長、加盟9社）は洞爺湖温泉にある公衆トイレの点検、修理を行いました。

同協会が毎年実施している技術を生かした地域奉仕の一環で加盟各社から12人が参加。

作業前には齊藤会長が「洞爺湖を訪れる観光客の皆さんに気持ちよく利用してもらいたい」と挨拶しました。

会員は珍小島や噴火記念公園トイレなど9か所を分担して点検などを行いました。



トイレの点検をしている会員

## 6/29 安心、安全な生活を 北紘建設 虻高へマスク寄贈

**北**紘建設（笹山智市代表取締役）は、新型コロナウイルス感染症の防止に向けた地域貢献の一環として、虻田高校へマスクを1,000枚を寄贈しました。

当日は、生徒会長の菅芳樹さん（3年）に会社からのメッセージとマスクが手渡され、受け取った菅さんは「マスクは流通するようになりましたが、価格が高いと感じているので、いただけると助かります」と感謝していました。



菅さん（左）にマスクとメッセージを手渡す  
笹山代表取締役常務（中央）と河島土木部長（右）

**7/11** 今年度初めての芸術館ワークショップ  
「くるくるまわして絵を動かそう」開催

**今** 年度初めてとなる芸術館ワークショップ「くるくるまわして絵を動かそう」が公立はこだて未来大学原田泰教授を講師として招き、とうや水の駅で開催され、7人が参加しました。当日は、アニメーションの原理を説明した後、アニメーションの原型であるゾートロップ（回転のぞき絵）を制作。参加した子どもは「自分の描いた絵が動いているように見えて不思議だった」と楽しんでいました。



作った作品を鑑賞する参加者

**7/7~7/12** 涼しい音を奏でる  
ヤナギの枝で「木の枝風鈴」作製

**洞** 爺財田自然体験ハウスで特別プログラム「木の枝風鈴」が行われ、7日〜12日の間で10人が参加しました。11日には、親子2組が参加し、同施設周辺のヤナギの木をのこぎりで伐採。その後、事前に準備された材料で、木の枝風鈴を作製しました。参加した子どもは「木を切るのは初めてで、最初は難しかったけどうまく切ることができて楽しかった」と初めての体験を楽しんでいました。



ヤナギの木の皮をむいている子ども

**7/17** 効率的な運営を図る  
人参洗浄選別機お披露目会

**と** うや湖農業協同組合（高井一英代表理事組合長）の「人参洗浄選別機」がやさい集出荷センターに完成し、お披露目会が行われ、関係者約20人が参加しました。同機は1日当たり72トンのニンジンを選別、箱詰めすることができ、従来の選別機より処理能力が44%向上。当日、高井組合長は「従来より処理能力が向上したので効率的な運営を行っていききたい」と話しました。



新しく導入された「人参洗浄選別機」

**7/14** おいしく減塩に取り組む  
生活習慣病予防講演会

**生** 活習慣病予防講演会が健康福祉センターで行われ、住民15人が参加しました。当日は、管理栄養士尾崎節子さんを講師として招き、「始めよう！おいしく減塩」と題して、講演。減塩が必要な理由や食事のバランス、すぐに実践できる減塩方法などについて話しました。参加者は「暑くなると塩分を摂りたくなりませんが、少し減塩に気をつけようと思いました」と感想を話しました。



講師の講演を真剣に聞く参加者